

第74回国民体育大会 茨城県準備委員会

第7回常任委員会



いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

平成27年7月14日(火)
水戸プラザホテル
2階(プラザボールルーム)

第74回国民体育大会茨城県準備委員会 第7回常任委員会資料目次

1	次第	・・・P	1
2	報告事項		
	・報告事項1	第74回国民体育大会茨城県準備委員会副会長及び常任委員 の変更	・・・P 5
	・報告事項2	第74回国民体育大会イメージソング及びダンスの制作について	・・・P 6
	・報告事項3	「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」 に伴う第74回大会（茨城県）に追加される正式競技の種目・ 種別の決定等について	・・・P 9
3	審議事項		
	・第1号議案	第74回国民体育大会会場地市町村第五次選定（案）	・・・P 13
	・第2号議案	第74回国民体育大会文化プログラム実施基本方針（案）	・・・P 15
	・第3号議案	第74回国民体育大会会期（案）	・・・P 16
	・第4号議案	第74回国民体育大会式典基本構想（案）	・・・P 17
4	参考資料		
	・第74回国民体育大会会期（案）（第3号議案関係）	・・・P	35
	・第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則	・・・P	36
	・第74回国民体育大会茨城県準備委員会専門委員会規程	・・・P	40
	・第74回国民体育大会茨城県準備委員会役員名簿	・・・P	42

第74回国民体育大会茨城県準備委員会 第7回常任委員会次第

日時：平成27年7月14日（火）13：45～14：00

場所：水戸プラザホテル 2階 プラザボールルーム

1 開会

- ・あいさつ

2 報告事項

- ・報告事項1 第74回国民体育大会茨城県準備委員会副会長及び常任委員の変更
- ・報告事項2 第74回国民体育大会イメージソング及びダンスの制作について
- ・報告事項3 「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」に伴う第74回大会（茨城県）に追加される正式競技の種目・種別の決定等について

3 審議事項

- ・第1号議案 第74回国民体育大会会場市町村第五次選定（案）
- ・第2号議案 第74回国民体育大会文化プログラム実施基本方針（案）
- ・第3号議案 第74回国民体育大会会期（案）
- ・第4号議案 第74回国民体育大会式典基本構想（案）

4 閉会

報 告 事 項

第74回国民体育大会茨城県準備委員会副会長及び常任委員の変更

平成27年2月17日から平成27年7月14日までの間における副会長及び常任委員の変更については、下記のとおりである。

第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則第12条第9項により準用する第8条第3項の規定により報告する。

○ 副会長

機関・団体名および役職	新任者	旧任者	変更年月日
茨城県教育委員会委員長	—	関 正 樹	平成27年4月15日
茨城県教育委員会教育長	小野寺 俊	—	平成27年4月16日
茨城県市長会長	豊田 稔	会田 真一	平成27年6月1日

○ 常任委員

機関・団体名および役職	新任者	旧任者	変更年月日
茨城県理事兼政策審議監	今瀬 肇	松下 博充	平成27年4月1日
茨城県知事公室長	塙 秀雄	小野 嘉久	平成27年4月1日
茨城県総務部理事兼地域支援局長	今関 裕夫	今橋 裕磨	平成27年4月1日
茨城県生活環境部長	小野 嘉久	泉 幸一	平成27年4月1日
茨城県保健福祉部長	松岡 輝昌	森戸 久雄	平成27年4月1日
茨城県教育委員会委員（教育長職務代理者）	関 正 樹	—	平成27年4月16日
茨城県市議会議長会会長	村田 進洋	田口 文明	平成27年6月9日
茨城県中学校体育連盟	川又 将	相吉 新一	平成27年5月15日
茨城県学校長会会長	坂場 克身	助川 公継	平成27年5月13日
茨城県高等学校長協会協会長	萩谷 主郎	小田部 幹夫	平成27年5月22日
茨城県私学協会会長	鈴木 康之	大窪 範光	平成27年4月1日
茨城県中小企業団体中央会会長	渡邊 武	幡谷 祐一	平成27年6月1日
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社長	向山路 一	小池 邦彦	平成27年6月23日
茨城県女性団体連盟会長	田山 知賀子	神戸 礼子	平成27年5月22日

第74回国民体育大会イメージソング及びダンスの制作について

広報・県民運動専門委員会に委任された本事項について審議の結果、以下のとおり決定されたので第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則第13条第2項の規定により報告する。

1 制作趣旨

- ・県民一人一人のいきいき茨城ゆめ国体への参加意識を高めるとともに、県内外への本県のイメージアップを図るため、イメージソングと誰でも楽しく参加できるダンスを制作する。

2 イメージソング

(1) 制作

① 歌詞・曲の公募

- ・県民や来県者が楽しみ、親しみを感じられる楽曲とするとともに、県内外への茨城国体のさらなる周知を図るため、イメージソングの歌詞及び曲を公募する。

② 審査・決定

- ・広報・県民運動専門委員会に「イメージソング審査部会」を設置して、審査のうえ、採用作品を選定し広報・県民運動専門委員会で決定する。

③ 編曲・CD制作

- ・イメージソングの補作，編曲，CD制作等を業務委託する。
- ・CDを2,000枚制作し，保育園，幼稚園，小・中・高等学校，中等教育学校，特別支援学校，市町村，関係団体等に配布する。

(2) 普及

- ・学校においては，休み時間のBGM，音楽の授業，運動会等で活用する。
- ・市町村，各競技団体等においては，イベントのBGM等で活用する。

3 ダンス

(1) 制作

- ・イメージソングをダンス用に編曲のうえ，ダンスの経験，ダンスの好み，踊る人の世代等の違いを勘案し，複数バージョンのダンスを作る。

(2) 普及

① 小中高等学校，保育園・幼稚園等

- ・ダンスの初心者から経験者までをカバーするため，難易度の異なる3バージョンの振付（イージー，スタンダード，エキスパートの各バージョン）を作成し，教育活動を中心に幅広い世代への普及を図る。

② 地域イベント等

- ・県内で行われているダンスや踊りの地域イベント等で活用してもらうために、フェスティバルバージョンを作成し、当該イベントを通じた普及を図る。

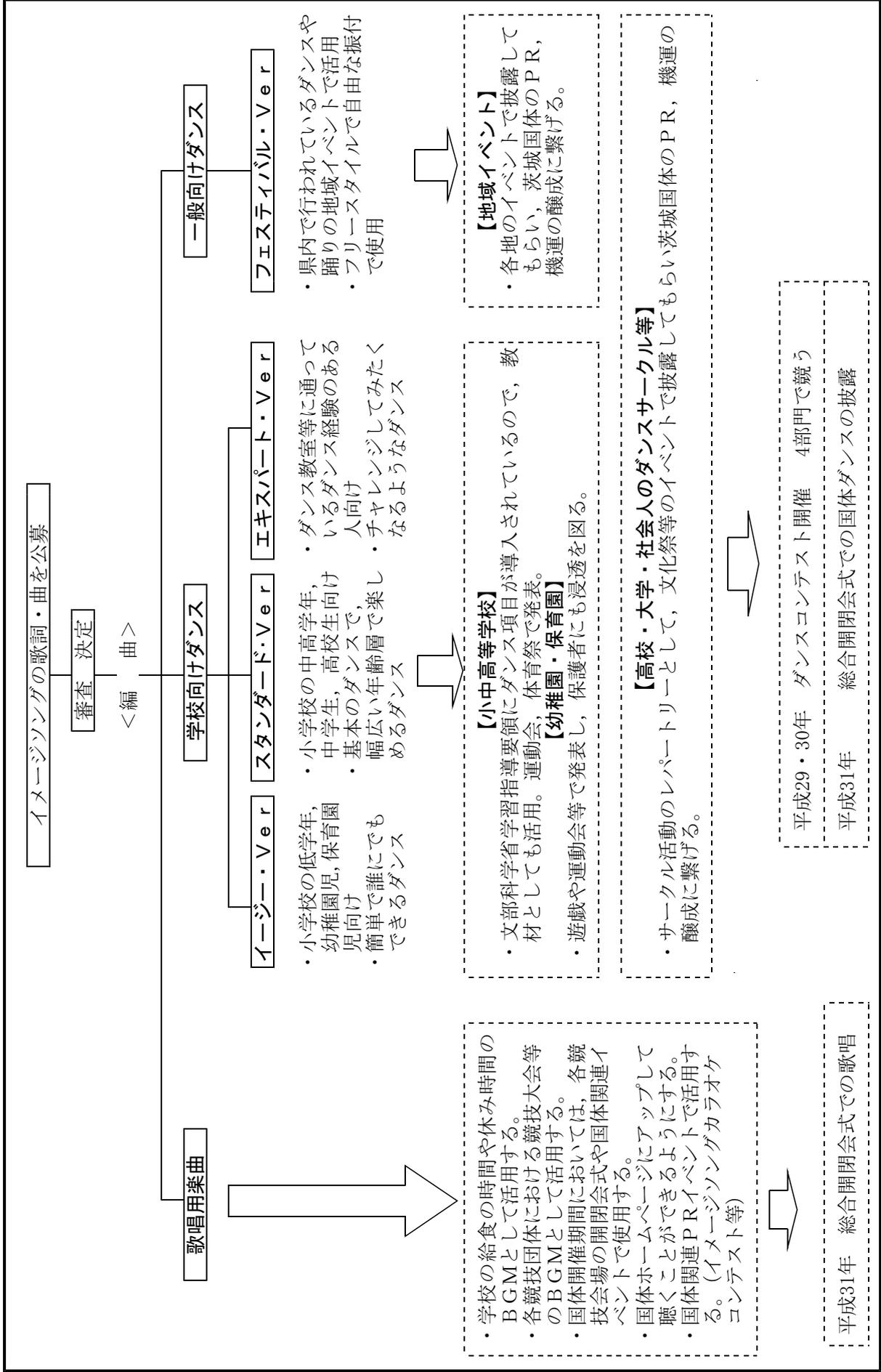
③ 高校・大学・社会人のダンスサークル等

- ・いずれかのバージョンをサークル活動のレパートリーとして取り入れてもらう。

4 スケジュール

	イメージソング	ダンス
4月16日 ～ 6月30日	歌詞及び曲の募集	
7～8月	イメージソング審査部会 ・審査，採用作品選定 広報・県民運動専門委員会 ・イメージソング決定	
9月	補作・編曲（歌唱用，ダンス用）	
10～12月		編曲したダンス用の曲に振り付け （イージー，スタンダード，エキスパート，フェスティバルの4バージョン）
2月	イメージソング，ダンスの披露	

国体イメージソング・ダンス制作及び普及のイメージ図



「国民体育大会における2020年オリンピック対策・実行計画」に伴う 第74回大会（茨城県）に追加される正式競技の種目・種別の決定等について

（公財）日本体育協会第1回国民体育大会委員会（平成27年6月11日）において、以下のとおり決定された旨の連絡があったので報告する。

1 第74回大会（茨城県）における正式競技導入対象競技（種目・種別）

競 技		種目等	種別
1	水 泳	水 球	女子(成年少年共通)
		オープンウォータースイミング	男子(成年少年共通) 女子(成年少年共通)
2	ボクシング	フライ級	成年女子
3	バレーボール	ビーチバレー	男子(成年少年共通) 女子(成年少年共通)
4	体 操	トランポリン	男子(成年少年共通) 女子(成年少年共通)
5	レスリング	フリースタイル <53kg級, 63kg級>	女子(成年少年共通)
6	ウエイトリフティング	スナッチ, クリーン&ジャーク <-53kg級, 58kg級, -69kg級>	女子(成年少年共通)
7	自転車競技	4種目 【トラック】ケイリン, スクラッチ(個人), チームスプリント(1チーム2名/団体) 【ロード】個人ロードレース	女子(成年少年共通)
8	ラグビーフットボール	7人制	女子(成年少年共通)

2 正式競技（種目・種別）への導入決定時期

- (1) 各大会における正式競技（種目・種別）については、導入条件の充足状況を踏まえるとともに、開催県及び会場地市町村と実施規模等を調整し、決定する。
- (2) 決定時期については、2020年東京オリンピック競技大会への対応という特別な事情を考慮し、原則として各大会開催年の3年前までに国体委員会にて決定する。

<参考>本県における今後のスケジュール

- 平成27年7月… 第7回常任委員会 提案（調整済の競技）
- 平成28年2月… 第8回常任委員会 提案（上記以外の競技）
- 平成28年5月… （公財）日本体育協会へ回答
- 平成28年6月… （公財）日本体育協会国民体育大会委員会で決定

審 議 事 項

第7回常任委員会 第1号議案

第74回国民体育大会 会場地市町村第五次選定（案）

総務企画専門委員会に付託した本事項の審議結果が報告されたので、第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則第12条第7項第2号の規定により提案する。

※ ■ は導入対象競技 ※太字は第五次選定競技

競技名		種別	開催市町村	実施予定競技施設	
○正式競技					
1	陸上競技	全種別	ひたちなか市	笠松運動公園陸上競技場	
2	水泳	競泳	全種別	ひたちなか市	笠松運動公園屋内水泳プール
		飛込	全種別		
		シンクロナイズドスイミング	少年女子	土浦市	県立土浦第二高等学校プール
		水球	少年男子・女子		
		オープンウォータースイミング	男子・女子		
3	サッカー	成男・少男	鹿嶋市	県立ガシマサッカースタジアム、ト伝の郷、高松緑地公園、新浜緑地公園、北浜公園	
		女子	ひたちなか市	ひたちなか市総合運動公園陸上競技場及びスポーツ広場	
4	テニス	全種別	神栖市	神栖海浜庭球場	
5	ボート	全種別	潮来市	潮来市立ボートセンター	
6	ホッケー	全種別	東海村	県立東海高等学校ホッケー場、阿漕ヶ浦公園	
7	ボクシング	全種別・成年女子	城里町	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校体育館	
8	バレーボール	6人制	成男・成女・少男	ひたちなか市	ひたちなか市総合運動公園総合体育館、松戸体育館、県立勝田工業高等学校体育館
			少年女子	結城市	かなくぼ総合体育館
		ビーチバレー	男子・女子	大洗町	大洗サンビーチ特設会場（仮称）
9	体操	競技	全種別	つくば市	つくば市総合運動公園体育館（仮称）
		新体操	少年女子		
		トランポリン	男子・女子	調整中	調整中
10	バスケットボール	成男・少男	日立市	日立市池の川さくらアリーナ	
		成女・少女	水戸市	青柳公園市民体育館、水戸市総合運動公園体育館	
11	レスリング	全種別・女子	水戸市	水戸市新体育館（仮称）	
12	セーリング	全種別	阿見町	霞ヶ浦湖畔特設会場	
13	ウエイトリフティング	全種別・女子	高萩市	高萩市文化会館	
14	ハンドボール	成年男子	坂東市	坂東市総合体育館、県立岩井高等学校体育館	
		少男・少女	常総市	水海道総合体育館、県立水海道第二高等学校体育館	
		成年女子	守谷市	常総運動公園体育館	
15	自転車	トラック	全種別・女子	取手市	取手競輪場（調整中）
		ロード	全種別・女子	つくば市	つくば市特設ロードレースコース（調整中）
16	ソフトテニス	全種別	北茨城市	磯原地区公園テニスコート（仮称）	
17	卓球	全種別	日立市	日立市池の川さくらアリーナ	
18	軟式野球	成年男子	水戸市	水戸市民球場	
			土浦市	川口運動公園野球場	
			日立市	日立市民運動公園野球場	
			笠間市	笠間市民球場	
			牛久市	牛久運動公園野球場	
			高萩市	高萩市民球場	
19	相撲	全種別	土浦市	霞ヶ浦文化体育会館	
20	馬術	全種別	那珂市	県立水戸農業高等学校特設馬術競技場	
21	フェンシング	全種別	水戸市	水戸市新体育館（仮称）	
22	柔道	全種別	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市総合体育館たつのこアリーナ	
23	ソフトボール	成男・成女	常陸太田市	山吹運動公園運動広場、白羽スポーツ広場多目的スポーツ広場	
		少男・少女	下妻市	砂沼広域公園野球場、柳原球場、千代川運動公園野球場、千代川中学校グラウンド	
24	バドミントン	全種別	石岡市	石岡運動公園体育館	

競技名		種別	開催市町村	実施予定競技施設
25	弓道	全種別	水戸市	県武道館弓道場
26	ライフル射撃	CP	茨城町	県警察学校射撃場
		CP以外	桜川市	県営ライフル射撃場、桜川市立岩瀬体育館ラスカ
27	剣道	全種別	筑西市	下館総合体育館
28	ラグビーフットボール	全種別・女子	水戸市	水戸市立サッカー・ラグビー場、ケーズデンキスタジアム水戸
29	山岳	全種別	鉾田市	鉾田総合公園体育館及びグラウンド
30	カヌー	スプリント	神栖市	神之池特設会場
		スラローム・ワイルドウォーター	大子町	久慈川特設会場
31	アーチェリー	全種別	つくば市	荃崎運動公園陸上競技場
32	空手道	全種別	牛久市	牛久運動公園体育館
33	クレ射撃	全種別	笠間市	県狩猟者研修センター
34	なぎなた	全種別	常陸大宮市	西部総合公園体育館
35	ボウリング	全種別	取手市	フジ取手ボウル
36	ゴルフ	成年男子	大洗町	大洗ゴルフ倶楽部
		少男・女子	笠間市	宍戸ヒルズカントリークラブ
37	トライアスロン	全種別	潮来市	常陸利根川特設会場

○公開競技

1	綱引	全種別	古河市	古河中央運動公園総合体育館
2	武術太極拳	全種別	取手市	取手グリーンスポーツセンター
3	パワーリフティング	全種別	つくば市	つくばカピオ
4	ゲートボール	全種別	行方市	行方市北浦運動場北浦第1グラウンド
5	グラウンド・ゴルフ	全種別	神栖市	神栖中央公園

○特別競技

1	高等学校野球	硬式		水戸市	水戸市民球場
		軟式		土浦市	川口運動公園野球場

○デモンストラレーションスポーツ

1	合気道		笠間市	笠間市民体育館
2	ウォーキング		五霞町	利根川・江戸川河川敷コース
			利根町	とねヘルスロードコース
3	エアロビック		取手市	取手グリーンスポーツセンター
4	グラウンド・ゴルフ		かすみがうら市	あじさい館コミュニティ広場, 多目的運動広場多目的グラウンド
5	3B体操		那珂市	那珂総合公園アリーナ
6	少年少女サッカー		小美玉市	玉里運動公園 ほか
7	少年軟式野球		境町	さしま環境管理事務組合野球場
8	少林寺拳法		古河市	古河中央運動公園総合体育館
9	スポーツ吹矢		石岡市	石岡運動公園体育館
10	ソフトバレーボール		河内町	河内町農業者トレーニングセンター
11	ターゲットバードゴルフ		つくばみらい市	つくばみらい市総合運動公園多目的広場
12	ダンススポーツ		取手市	取手グリーンスポーツセンター
13	ダンス&パフォーマンス		つくば市	ノバホール
14	ディスクゴルフ		美浦村	光と風の丘公園
15	トランポリン		稲敷市	江戸崎総合運動公園体育館
16	ドッジボール		水戸市	青柳公園市民体育館, 水戸市総合運動公園体育館
17	バウンドテニス		つくばみらい市	つくばみらい市総合運動公園体育館
18	パークゴルフ		結城市	紬の里結城パークゴルフ場
19	パンポン		日立市	日立市池の川さくらアリーナ
20	ビーチボールバレー		八千代町	八千代町総合体育館
21	ユニカール		城里町	城里町常北公民館体育室
22	レク・クローケー		大洗町	大洗町総合運動公園

第74回国民体育大会 文化プログラム実施基本方針（案）

総務企画専門委員会に付託した本事項の審議結果が報告されたので、第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則第12条第7項第2号の規定により提案する。

1 目的

県内の文化事業を第74回国民体育大会の「文化プログラム」として紹介・宣伝し、多くの県民に参加していただくことにより、開催機運の醸成を図る。

あわせて、肥沃で水と緑豊かな自然や、その中で育まれてきた歴史・文化などの本県の魅力を全国に向けて発信する。

2 内容

文化プログラムの内容は、次のいずれかに該当し、第74回国民体育大会茨城県準備（実行）委員会が認めたものとする。

- (1) スポーツに関連する文化・芸術事業
- (2) 茨城県の文化・芸術等を発信する事業
- (3) その他文化プログラムの目的に沿うと認められる事業

3 実施者

文化プログラムの事業を実施できるものは、次のとおりとする。

- (1) 公益財団法人日本体育協会，文部科学省，茨城県及び特定非営利活動法人日本スポーツ芸術協会
- (2) 茨城県内の市町村
- (3) 文化プログラムの開催目的に賛同する団体，機関等（宗教団体，政治団体は除く）

4 期間

文化プログラムの実施期間は、原則として、平成31年1月1日から平成31年12月31日までとする。

5 開催地

文化プログラムは原則として茨城県内で実施する。

6 経費負担

文化プログラムの実施にかかる経費は、各事業を実施するものが負担する。

第74回国民体育大会会期（案）

総務企画専門委員会に付託した本事項の審議結果が報告されたので、第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則第12条第7項第2号の規定により提案する。

第74回国民体育大会の会期（案）について、次の3案を日本体育協会へ提出する。

○ 会期（案）

第1案 平成31年 9月28日(土)～10月 8日(火)

第2案 平成31年10月 5日(土)～10月15日(火)

第3案 平成31年 9月21日(土)～10月 1日(火)

(希望順位は第1案～第3案の順)

第74回国民体育大会式典基本構想（案）

式典専門委員会に付託した本事項の審議結果が報告されたので、第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則第12条第7項第2号の規定により提案する。

いきいき茨城ゆめ国体

翔べ 羽ばたけ そして未来へ



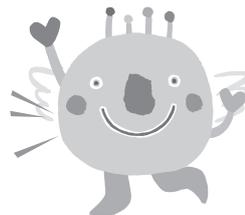
式典基本構想



第74回国民体育大会茨城県準備委員会

目 次

基本構想策定にあたって	P 1
1 「いきいき茨城ゆめ国体」の概要	P 2
2 式典の概要	P 3
(1) 式典テーマ	
(2) 基本的な考え方	
3 総合開・閉会式の概要	P 4
(1) 総合開会式	
(2) 総合閉会式	
(3) 各競技会の表彰式	
(4) 大会旗・炬火リレー	
4 開催に向けて	P 7
参考資料	P 11



式典基本構想策定にあたって

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする目的で、毎年開催されます。

茨城県では、1974（昭和49）年に「水と緑のまごころ国体」を開催してから、45年ぶりとなる2019（平成31）年に「いきいき茨城ゆめ国体」を開催することとなりました。

茨城県開催での2巡目となる「いきいき茨城ゆめ国体」では、「いばらきの魅力を発信 みんなで創るスポーツの祭典」を基本目標に掲げています。その実現のため、『いばらきの魅力』を発信する国体」「いばらきの特色を生かし、創意工夫を凝らした国体」「人情味あふれるおもてなしで創る国体」「更なるスポーツの推進を図る国体」の4項目を大きな柱として、スポーツの普及や競技力向上を図るとともに、人々との交流による地域の活性化や地域文化の振興など活力ある社会形成への契機となるよう努めているところです。

また、県民が心をつなげて開催準備を進めていくことは、全国に向け、震災からの復興を成し遂げた元気な茨城の姿を伝えることにもつながります。

中でも、総合開・閉会式をはじめとする式典は、最先端の科学技術と伝統が融和する多彩な「いばらきの魅力」と未来に向けて夢あふれる本県の姿を全国から訪れる人々に発信する絶好の場であることから、全県民総力を挙げて、地域の特色を生かして、来県者を温かく迎えておもてなしをする中で、交流の場を広め、お互いの絆を深めて、感動と喜びを共有できる場としていきたいと考えています。

本式典基本構想は、2014（平成26）年に策定した式典基本方針を踏まえた上で、式典に関する基本的な考え方を明らかにするもので、「いきいき茨城ゆめ国体」における式典全体の共通指針として策定します。



1 「いきいき茨城ゆめ国体」の概要

大会名

第74回国民体育大会

愛称

いきいき茨城ゆめ国体

(趣旨) 選手やボランティアをはじめ、国体に参加するすべての人々に、活気にあふれ、いきいきと活躍できる夢のあるスポーツの祭典のすばらしさを感じていただきたい、という想いを込めています。

スローガン

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

(趣旨) 国体に様々な形で参加することによって飛躍し、そして未来に向けて大きく羽ばたいていける大会であるように、という想いを込めています。

マスコット

いばラッキー



開催時期

平成31年9月中旬～10月中旬の11日間以内

実施競技

正式競技 (37競技)

公開競技 (5競技)

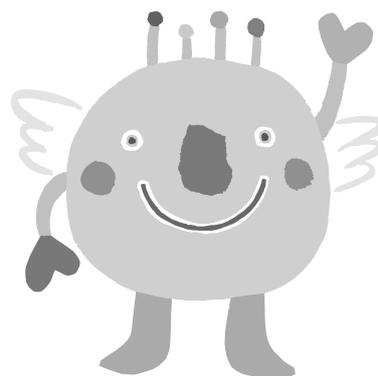
特別競技 (1競技)

デモンストラレーションスポーツ (平成27年2月現在 22競技)

2 式典の概要

「いきいき茨城ゆめ国体」の式典は、総合開・閉会式、各競技会の表彰式、大会旗・炬火リレーで構成します。

国民体育大会開催基準要項及び第74回国民体育大会開催基本構想並びに第74回国民体育大会式典基本方針に定められた基本事項を踏まえ、「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」のテーマのもと、「いきいき茨城ゆめ国体」にふさわしい式典とします。



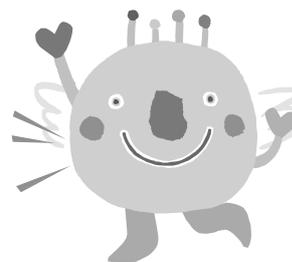
(1) 式典テーマ

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

(2) 基本的な考え方

- ①豊かな実りと美しい自然，悠久の歴史と文化，最先端の科学技術と伝統が融和する
“いばらきの魅力”を表現し，全国へ発信する式典
 - ・いばらきの持つ多彩な魅力を積極的に取り入れた式典を目指します。
 - ・魅力あるいばらきを再認識するとともに，未来に向けて夢にあふれる本県の姿を全国に広く発信する式典を目指します。
- ②県民総参加のもと，すべての人が心をつなげて協働し，簡素ながらも創意工夫を凝らしたみんなで創る手づくりの式典
 - ・県民総参加のもと，一人一人が主体となり，心をつなげて協力し，いきいきと活躍できる式典を目指します。
 - ・簡素ながらも知恵と工夫を凝らし，活気に満ちあふれ，かつ，ぬくもりを感じる式典を目指します。
- ③訪れる人々を人情味あふれる心のこもったおもてなしで歓迎し，出会いと交流により絆を深め，参加したすべての人が感動と喜びを共有できる記憶に残る式典
 - ・地域の特色を生かした心温まるおもてなしや，人と人とのふれあいを通して，地域の連帯感や郷土愛が高まり，参加したすべての人の絆が深まる式典を目指します。
 - ・おもてなしをする人，訪れた人，参加した人すべての人が感動と喜びを共有し，いつまでも記憶に残る式典を目指します。

3 総合開・閉会式等の概要



(1) 総合開会式

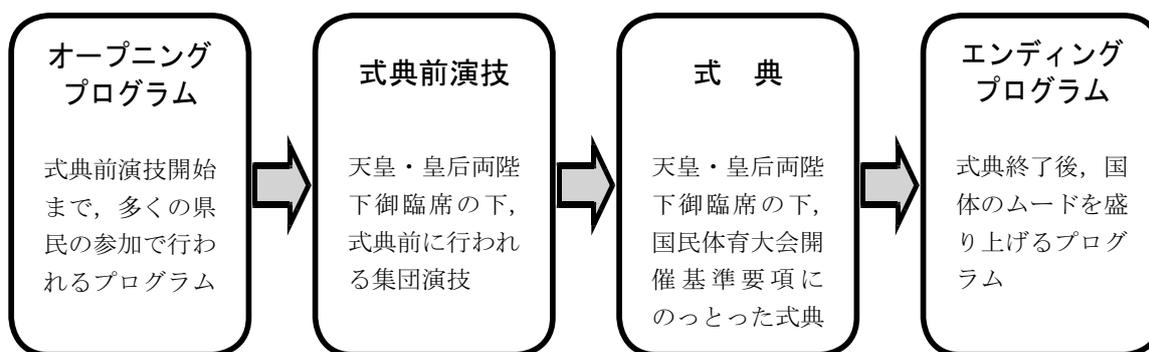
開催会場 笠松運動公園陸上競技場

①基本的な考え方

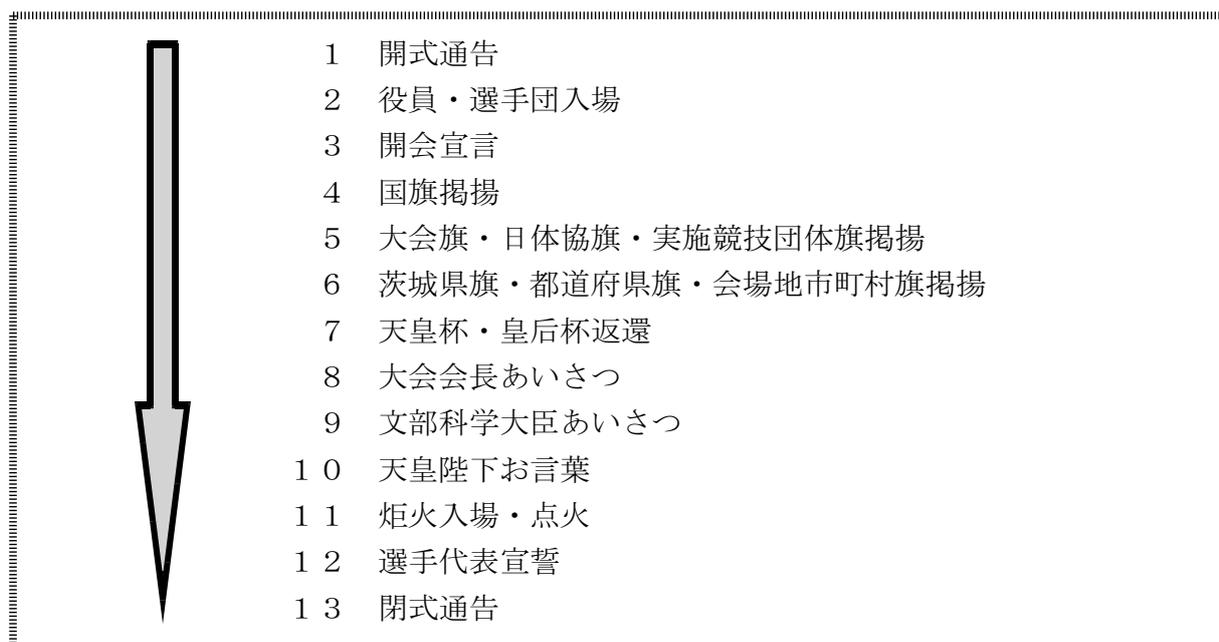
- ・自然・歴史・文化・最先端の科学技術と伝統など、いばらきの魅力を存分に生かした内容とします。
- ・県民総参加のもと、簡素でありながらアイデアを凝らした演出により、これから始まる国体への期待感を高める内容とします。
- ・全国から来県する人々を心のこもったおもてなしで迎え、出会いと交流をもって絆が深まる内容とします。

②構成イメージ

オープニングプログラム、式典前演技、式典、エンディングプログラムで構成します。



③総合開会式における式典の流れ（次第）



※次第については、公益財団法人日本体育協会と協議を行って、正式決定します。

(2) 総合閉会式

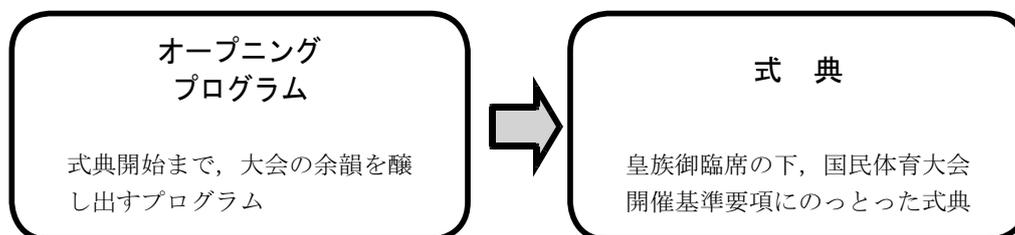
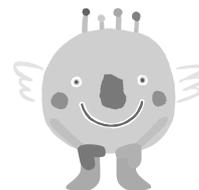
開催会場 笠松運動公園陸上競技場

①基本的な考え方

- ・「いきいき茨城ゆめ国体」を振り返り、感動を与えてくれた選手たちを称えるとともに、関わった人すべてに対する感謝の気持ちを表現した内容とします。
- ・全国から訪れた人々と県民との交流・培った絆を大切に、再会への期待につながる内容とします。
- ・第19回全国障害者スポーツ大会や第75回国民体育大会につながる内容とします。

②構成イメージ

オープニングプログラムと式典で構成します。



③総合閉会式における式典の流れ（次第）



※次第については、公益財団法人日本体育協会と協議を行って、正式決定します。

(3) 各競技会の表彰式

①基本的な考え方

- ・感動と勇気を与えてくれた選手の健闘を称える内容とします。
- ・簡素化に努めながらも地域の特色を生かして、心のこもったおもてなしが感じられるようにします。

②実施方法等

- ・表彰式は会場地市町村が競技団体と協議のうえ実施することとします。

【参考：国民体育大会開催基準要項細則（抜粋）】

7 本則第19項第5号（各競技会表彰式の要項）

各競技の表彰式は、できるだけ簡素なものとし、概ね次の通りとする。

- ・成績発表
- ・表彰状授与
- ・大会会長トロフィー授与
- ・競技会会長閉会のあいさつ
- ・会場地代表歓送のことば
- ・国旗降納
- ・大会旗，実施競技団体旗，会場地市町村旗降納

(4) 大会旗・炬火リレー

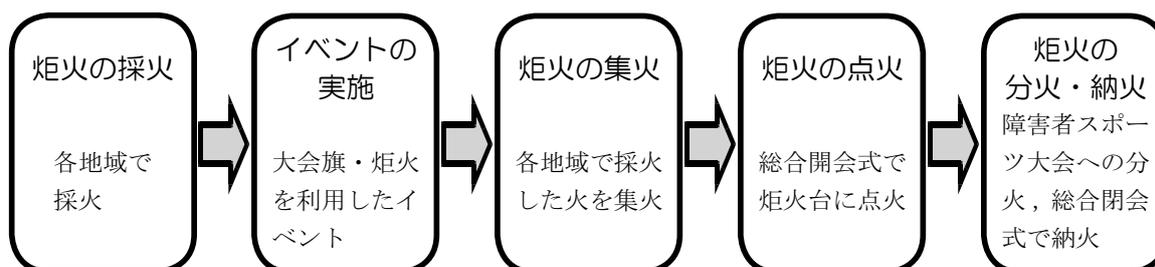
①基本的な考え方

- ・県，市町村がともに地域の特色を生かした採火や催しを行うことで，国体に向けた機運を盛り上げる内容とします。
- ・小さな子どもから高齢者までが交流をもって，連帯感を高め，みんなで感動と喜びを共有できる活気あふれる内容とします。

②実施方法等

- ・簡素な中にも創意工夫して，自然・歴史・伝統・文化・科学などさまざまな地域資源を有効活用できるよう検討します。

③実施方法等のイメージ

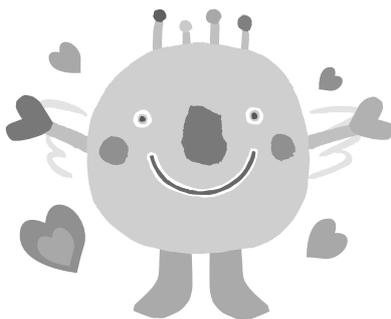


4 開催に向けて

(今後のスケジュール)

第74回国民体育大会 式典準備スケジュール（案）

	H28 (2016年) (開催3年前) 開催決定	H29 (2017年) (開催2年前)	H30 (2018年) (開催1年前)	H31 (2019年) (開催年)	開 ・ 閉 会 式 綜 合 リ ハ ー サ ル	第 7 4 回 国 民 体 育 大 会 開 催
組 織	式典専門委員会	式典運営部 式典音楽部 式典演技部		式典実施本部設置		
全体計画	式典基本計画	式典実施計画	式典実施要項・要領	式典実施マニュアル		
部会検討事項	式典運営部会 (大会旗・炬火リレー) 式典運営基本計画 ・式典イメージ ・開閉会式基本計画 ・表彰式計画 等 大会旗・炬火リレー 基本方針・基本計画 ・市町村意向調査	式典運営実施計画 ・開閉会式実施計画 ・アナウンサー選定計画 ・放送、音響計画 ・演出、構成計画 等 大会旗・炬火リレー 実施計画 ・採火地の調査及び選定 ・走者選定基準	式典運営実施要項・要領 ・会場利用整備計画 ・開閉会式運営実施要項 ・開閉会式次第 ・アナウンサー選考、養成 ・放送業務要領 ・音響器具整備計画 ・式典総合練習会計画 等 大会旗・炬火リレー 実施要項・要領 ・採火名、採火方法決定 ・実施計画書 等	開・閉会式次第協議・申請 (日体協へ) 総合練習会 炬火式・集火式実施 ・予行練習 ・最終走者選定 ・開会式炬火業務マニュアル等		
	式典音楽部会 式典音楽基本計画 ・式典音楽隊編成計画 ・出演団体選定計画 ・式典使用曲公募計画 ・楽器準備計画 等 式典音楽実施計画 ・式典音楽隊編成基準 ・音楽出演団体選定基準 ・式典出演者公募基準 ・楽器準備方針 等	式典音楽実施要項・要領 ・式典音楽隊用具整備 ・服飾整備 ・式典使用曲決定 ・練習会、試奏会 ・楽譜、CD制作、配布 ・指揮者選定 等		合同練習会 総合練習会		
	式典演技部会 式典演技基本計画 ・演技展開構想計画 ・伴奏曲制作計画 ・出演団体編成計画 等 式典演技実施計画 ・演技展開構想計画 ・伴奏曲制作計画 ・出演団体選定計画、基準 ・出演団体選定決定 ・服飾、用具整備計画 ・第1次試案書 等	式典演技実施要項・要領 ・第1次実証会 ・伴奏曲制作 ・業務要領、研修計画 ・服飾、用具の整備 ・練習計画、練習会 等		式典演技申請 (日体協へ) 合同練習会 総合練習会		



参 考 资 料

国民体育大会開催基準要項（第70回大会以降用）（抜粋）

（平成26年5月15日財団法人日本体育協会）

19 大会の式典

【本大会】

- (1) 大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開会式及び総合閉会式として、開催県が選定した競技会場地で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。
- (2) 式典の所要時間は、原則として60分以内とする。
- (3) 式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日体協と協議して定める。

総合開会式	開会宣言 国旗掲揚 大会旗・日体協旗・実施競技団体旗掲揚 開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗掲揚 天皇杯・皇后杯返還 大会会長あいさつ 文部科学大臣あいさつ 天皇陛下お言葉 炬火点火 選手代表宣誓
総合閉会式	成績発表 表彰状授与 天皇杯・皇后杯授与 大会会長あいさつ 開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納 大会旗・日体協旗・実施競技団体旗降納 国旗降納 炬火納火 国体旗引継 次期開催県旗掲揚 閉会宣言

- (4) 総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。
- (5) 競技会終了後の表彰式は細則第7項により実施することができる。

【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日体協と協議して定める。

20 国体旗引継ぎ及び保管

- (1) 国体旗は、総合閉会式時に本大会開催県代表者から次回本大会開催県代表者に引き継がれる。
- (2) 前号の方法は、大会ごとの事情に応じて行う。

21 大会旗及び炬火リレー

- (1) 大会旗及び炬火リレーは、開催県内に限り実施することができる。
- (2) リレーの方法については、開催県実行委員会が企画し、実施する。

第74回国民体育大会 開催基本構想 (抜粋)

【基本目標】

「いばらきの魅力を発信 みんなで創るスポーツの祭典」

○「いばらきの魅力」を発信する国体

全県民が総力をあげて、郷土を代表する競技者を応援するとともに、積極的にボランティアとして大会に参画するなど、大会の成功に向けて一人ひとりが活躍する手づくりの国体を目指します。

国体開催を本県の魅力を発信する絶好の機会ととらえ、本県の魅力を再認識するとともに、県内外の人々の記憶に残るよう発信します。

基本目標の実現に向けた取組み

- | | |
|-------------------|----------------|
| (1) 県民総参加による国体の開催 | (3) 魅力の再認識と発信 |
| (2) 効果的な広報活動の展開 | (4) 記憶に残る大会の運営 |

○いばらきの特色を生かし、創意工夫を凝らした国体

競技会場は、県内の既存施設を有効に活用するなど、簡素・効率化を図りながらも様々な視点からいばらきらしい創意工夫を凝らします。

広く県内各地で競技会を開催するなど、県民の参加と連携を深められるよう努めます。

基本目標の実現に向けた取組み

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 県内全域での国体開催 | (4) 民間活力の積極的導入 |
| (2) 大会開催の簡素・効率化 | (5) 地球にやさしい国体の開催 |
| (3) 既存施設等の有効活用 | |

○人情味あふれるおもてなしで創る国体

来県者を温かくお迎えし、交流の輪を広げるとともに、地域の特色を活かした観光や歴史、文化的事業の推進を図りながら地域の絆を深め、民泊などの活用も視野に入れた心のこもったおもてなしに努めます。

基本目標の実現に向けた取組み

- | | |
|----------------|------------------------|
| (1) 来県者との交流の促進 | (4) 地域の一体的な取り組みの推進 |
| (2) 県民運動等の促進 | (5) ボランティア等の育成 |
| (3) 賑わいの場の提供 | (6) 魅力ある地域資源を活かしたおもてなし |

○更なるスポーツの推進を図る国体

天皇杯・皇后杯の獲得を目指して競技力の向上を図ります。

同時に、国体を契機として県民のスポーツに対する意欲や関心を高めるとともに、併せて指導体制の構築や指導者の養成などを図ることにより、県内各地での開催競技が地域に普及し、国体終了後も継続したスポーツの推進につながるよう工夫します。

基本目標の実現に向けた取組み

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| (1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | (4) 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 |
| (2) 競技力の向上に向けた人材の育成やスポーツ環境の整備 | (5) 障害者スポーツの普及と環境整備 |
| (3) 住民が主体的に参画する地域スポーツ活動の推進 | |

第74回国民体育大会式典基本方針

平成26年2月18日第4回常任委員会決定

第74回国民体育大会の式典は、国民体育大会開催基準要項及び第74回国民体育大会開催基本方針並びに第74回国民体育大会開催基本構想を踏まえ、「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」のスローガンのもと、「いきいき茨城ゆめ国体」にふさわしい式典とする。

1 基本理念

- (1) 豊かな実りと美しい自然、悠久の歴史と文化、最先端の科学技術と伝統が融和する“いばらきの魅力”を表現し、全国へ発信する式典とする。
- (2) 県民総参加のもと、すべての人が心をつなげて協働し、簡素ながらも創意工夫を凝らしたみんなで創る手づくりの式典とする。
- (3) 訪れる人々を人情味あふれる心のこもったおもてなしで歓迎し、出会いと交流により絆を深め、参加したすべての人が感動と喜びを共有できる記憶に残る式典とする。

2 式典の構成

式典は、総合開会式・総合閉会式及び各競技会表彰式並びに大会旗・炬火リレーで構成する。

- (1) 総合開会式・総合閉会式
総合開会式・総合閉会式は国民体育大会開催基準要項第19項第3号に規定する各項目及び第19項第4号に規定する集団演技並びに役員・選手団入退場で構成する。
- (2) 各競技会表彰式
各競技会表彰式は、概ね国民体育大会開催基準要項細則第7項に規定する各項目で構成する。
- (3) 大会旗・炬火リレー
大会旗及び炬火リレーは、炬火採火、大会旗・炬火リレー及び炬火集火で構成する。

3 式典の企画・運営

- (1) 総合開会式・総合閉会式
総合開会式・総合閉会式は、第74回国民体育大会茨城県準備（実行）委員会が企画し、第74回国民体育大会茨城県実施本部（仮称）が運営にあたる。
- (2) 各競技会表彰式
各競技会表彰式は、第74回国民体育大会茨城県準備（実行）委員会が定める要項に基づき、会場地市町村準備（実行）委員会が関係競技団体と協議のうえ、企画・運営にあたる。
- (3) 大会旗・炬火リレー
大会旗及び炬火リレーについては、別に定める要項に基づくものとする。

参 考 资 料

第74回国民体育大会会期

1 会期の規定〔日本体育協会「国民体育大会開催基準要項」抜粋〕

○本大会の開催時期及び期間並びに会期

- ・開催時期 9月中旬～10月中旬
- ・開催期間 11日間以内
- ・大会の会期は開催3年前に日体協が開催県と協議して決定する。

2 会期（案）の選定

- ・正式・特別競技を行う32市町村及び38競技団体に対し、会期について調査（複数回答）した結果に基づき、希望した団体数が多い順位により会期（案）とした。

3 今後のスケジュール

	時 期	内 容
開 催 4年前	平成27年7月中旬	県準備委員会常任委員会で承認後、日体協へ提出
	平成27年10月～ 平成28年4月	日体協と宮内庁が協議・調整 (3案から1案への絞り込み)
開 催 3年前	平成28年5月～6月	日体協が調整結果を県に提示
	平成28年7月頃	国体委員会(日体協)で開催及び会期の承認・決定 ⇒ 県へ開催(会期)の決定通知
	平成28年7月	県準備委員会常任委員会で会期を報告

4 先催県の例

回	年	開催県	会 期	備 考
第63回	平成20年	大分県	9月27日(土)～10月7日(火)	
第64回	平成21年	新潟県	9月26日(土)～10月6日(火)	
第65回	平成22年	千葉県	9月25日(土)～10月5日(火)	
第66回	平成23年	山口県	10月1日(土)～10月11日(火)	
第67回	平成24年	岐阜県	9月29日(土)～10月9日(火)	
第68回	平成25年	東京都	9月28日(土)～10月8日(火)	
第69回	平成26年	長崎県	10月12日(日)～10月22日(水)	長崎くんち祭り(10/7～10/9)開催のため
第70回	平成27年	和歌山県	9月26日(土)～10月6日(火)	
第71回	平成28年	岩手県	10月1日(土)～10月11日(火)	
第72回	平成29年	愛媛県	9月30日(土)～10月10日(火)	

※ 先催県では、総合開会式(初日)を土曜日に開催することにより、多くの観覧者が集客できるとともに、競技会(2日目から開催)が日曜日開始となり、各競技会場へ多くの観戦者の来場が期待できることから、土曜日(総合開会式)で始まり、火曜日(総合開会式)で終わる11日間の開催が慣例となっている。

第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則

(平成24年5月28日設立総会決定)

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、第74回国民体育大会茨城県準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 準備委員会は、第74回国民体育大会（以下「大会」という。）を茨城県において開催するために必要な準備を行うことを目的とする。

(事業)

第3条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること
- (2) 大会における実施競技及び会場地市町村に関すること
- (3) 大会開催に必要な施設・設備の整備に関すること
- (4) 大会開催及び準備に係る経費に関すること
- (5) 関係行政機関及び関係機関との連絡調整に関すること
- (6) 前各号に掲げるもののほか、大会の開催に必要な準備に関すること

第2章 組織

(構成)

第4条 準備委員会は、会長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 県及び市町村を代表する者
- (2) 県及び市町村の議会を代表する者
- (3) 関係競技団体、その他関係機関・団体を代表する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか、大会開催の準備に関係ある者

(役員)

第5条 準備委員会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 8名以内
- (3) 常任委員 60名以内
- (4) 監事 3名以内

(役員を選任)

第6条 準備委員会の会長は、茨城県知事をもって充てる。

2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て委員のうちから会長が委嘱する。

3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は、欠けたときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、準備委員会の財務を監督する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから準備委員会の目的が達成され解散するまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は、団体等の役職を離れた場合は、その委員等は、辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に、顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

6 役員、委員、顧問及び参与は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 準備委員会に、次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は、会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) 大会の開催に必要な方針に関すること

(2) 会則の制定及び改廃に関すること

(3) 事業計画及び事業報告に関すること

- (4) 予算及び決算に関すること
- (5) 常任委員会に委任する事項に関すること
- (6) その他重要な事項に関すること

5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は、書面で議決に加わることができる。

6 会議の議事は、出席委員（代理人に権限を委任し、又は、書面で議決に加わった者を含む。）の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。

(常任委員会)

第12条 常任委員会は、会長、副会長及び常任委員をもって構成する。

2 委員長は、会長をもって充てる。

3 副委員長は、副会長をもって充てる。

4 常任委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

5 常任委員会の議長は、委員長又は、委員長が指名した者がこれにあたる。

6 委員長に事故があるとき又は、欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。

7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

- (1) 総会から委任された事項に関すること
- (2) 専門委員会の設置及び専門委員会への付託及び委任事項に関すること
- (3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること
- (4) その他、委員長が必要と認める事項に関すること

8 前条第5項及び第6項の規定は常任委員会について準用する。

9 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

(専門委員会)

第13条 専門委員会は、会長が委嘱する専門委員をもって構成する。

2 専門委員会は、常任委員会からの付託又は、委任された事項について調査・審議し、その結果を常任委員会に報告する。

3 前2項に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。

4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は、総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分す

ることができる。

- 2 前項の規定により専決処分したときは、会長はこれを次の総会等に報告し、承認を求めなければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第15条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務

(経費)

第16条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第17条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第18条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

- 2 準備委員会の会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 補則

(委任)

第19条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(解散)

第20条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

- 2 準備委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

附則

- 1 この会則は、平成24年5月28日から施行する。
- 2 準備委員会の平成24年度における会計年度は、第18条第1項の規定にかかわらず、平成24年5月28日に始まり、平成25年3月31日までとする。

第74回国民体育大会茨城県準備委員会専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、第74回国民体育大会茨城県準備委員会会則第13条第3項の規定に基づき、第74回国民体育大会茨城県準備委員会専門委員会（以下「委員会」という）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の種類等)

第2条 委員会の種類並びに常任委員会からの付託事項及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第3条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 若干名

2 委員長及び副委員長は、専門委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は、欠けたときは、あらかじめ委員長の指名した副委員長がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が必要と認めたときに招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

3 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外のものの出席を求め、その意見又は、説明を聴くことができる。

(部会)

第5条 委員会は、運営上必要があるときは部会を設けることができる。

2 部会の委員は、委員長が依頼する。

3 部会に関する事項は、委員長が定める。

(補則)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会長の承認を得て別に定める。

附則

この規程は、平成24年5月28日から施行する。

附則

この規程は、平成25年2月12日から施行する。

附則

この規程は、平成26年7月8日から施行する。

別表（第2条関係）

種 類	付 託 事 項	委 任 事 項
総務企画 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な計画の立案に関する事 2 会場地市町村の選定に関する事 3 県並びに会場地市町村の業務分担及び経費負担に関する事 4 他の専門委員会に属さない重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な計画の推進に関する事 2 文化プログラムに関する事 3 他の専門委員会に属さない事項に関する事
施設整備 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技施設等の基本的事項に関する事 2 情報通信施設整備の基本的事項に関する事 3 その他施設に係る重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技施設等の整備に関する事 2 情報通信施設の整備に関する事 3 その他施設に関する事
競技運営 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 実施予定競技の選択に関する事 2 競技運営等の基本的事項に関する事 3 その他競技運営に係る重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技役員等の養成及び編成に関する事 2 デモンストラーションスポーツに関する事 3 競技用具に関する事 4 リハーサル大会に関する事 5 競技記録に関する事 6 その他競技運営に関する事
広報・ 県民運動 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報の基本的事項に関する事 2 県民運動の基本的事項に関する事 3 その他広報及び県民運動に係る重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報及び啓発の実施に関する事 2 県民運動の推進に関する事 3 愛称・スローガン、マスコット等に関する事 4 報道機関との調整に関する事 5 記録映像及び記録写真に関する事 6 その他広報及び県民運動に関する事
宿泊・衛生 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 宿泊の基本的事項に関する事 2 医事・衛生の基本的事項に関する事 3 その他宿泊及び医事・衛生に係る重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 宿泊業務に関する事 2 標準献立及び食品調達に関する事 3 医療救護及び防疫に関する事 4 食品衛生及び環境衛生に関する事 5 馬事衛生に関する事 6 その他宿泊及び医事・衛生に関する事
輸送・交通 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送及び交通の基本的事項に関する事 2 その他輸送及び交通に係る重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国輸送に関する事 2 開・閉会式の輸送に関する事 3 競技会場地輸送に関する事 4 その他輸送及び交通に関する事
式 典 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 式典の基本的事項に関する事 2 その他式典に係る重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式の企画及び運営に関する事 2 式典音楽に関する事 3 式典演技に関する事 4 大会旗・炬火リレーに関する事 5 その他式典に関する事
警備・消防 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 警備及び消防防災の基本的事項に関する事 2 その他警備及び消防防災に係る重要な事項に関する事 	<ol style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式会場の警備及び消防防災に関する事 2 その他警備及び消防防災に関する事

第74回国民体育大会茨城県準備委員会役員

【会長】1名 【副会長】8名 【常任委員】50名 計59名 【監事】2名 合計61名

役職	選出区分	機関・団体名および役職	氏名
1 会長(委員長)	県関係	茨城県知事	橋本 昌
2	県議会関係	茨城県議会議長	細谷 典幸
3	県関係	茨城県副知事	山口 やち急
4		茨城県副知事	楠田 幹人
5 副会長 (副委員長)	県教委関係	茨城県教育委員会教育長	小野寺 俊
6	市町村関係	茨城県市長会長	豊田 稔
7		茨城県町村会長	小谷 隆亮
8		県庁所在地市長	高橋 靖
9	県体協関係	公益財団法人茨城県体育協会会長	角田 芳夫
10	県議会関係	茨城県議会副議長	山岡 恒夫
11		茨城県議会総務企画委員会委員長	伊沢 勝徳
12		茨城県議会防災環境商工委員会委員長	舘 静馬
13		茨城県議会保健福祉委員会委員長	石田 進
14		茨城県議会農林水産委員会委員長	西野 一
15		茨城県議会土木企業委員会委員長	神達 岳志
16		茨城県議会文教警察委員会委員長	石井 邦一
17	県関係	茨城県理事兼政策審議監	今瀬 肇
18		茨城県知事公室長	菊 秀雄
19		茨城県総務部長	菊地 健太郎
20		茨城県総務部理事兼地域支援局長	今関 裕夫
21		茨城県企画部長	野口 通
22		茨城県企画部理事兼科学技術振興監	佐久間 正敏
23		茨城県生活環境部長	小野 嘉久
24		茨城県生活環境部理事兼防災・危機管理局長	田中 豊明
25		茨城県保健福祉部長	松岡 輝昌
26		茨城県商工労働部長	斎田 陽介
27		茨城県農林水産部長	鈴木 哲也
28		茨城県土木部長	渡辺 学
29		茨城県企業局長	中島 敏之
30		茨城県病院事業管理者	五十嵐 徹也
31		茨城県警察本部長	鈴木 三男
32	県教育関係	茨城県教育委員会委員(教育長職務代理者)	関 正樹
33	市町村関係	茨城県市議会議長会長	村田 進洋
34		茨城県町村議会議長会長	小貫 和通
35		茨城県市町村教育委員会連合会会長	石塚 哲夫
36	スポーツ関係	公益財団法人茨城県体育協会副会長	堀口 卓司郎
37		公益財団法人茨城県体育協会副会長	高山 能昌
38		社団法人茨城県レクリエーション協会会長	岡田 広
39		茨城県スポーツ推進委員協議会会長	石島 邦行
40		茨城県スポーツ推進審議会委員長	巽 申直
41		茨城県障害者スポーツ・文化協会会長	橋本 昌
42		茨城県総合型地域スポーツクラブ協議会会長	大和 道男
43		茨城県中学校体育連盟会長	川又 将
44		茨城県高等学校体育連盟会長	齋藤 文夫
45	学校関係	茨城県学校長会会長	坂場 克身
46		茨城県高等学校長協会協会会長	萩谷 主郎
47		茨城県私学協会会長	鈴木 康之
48	産業・経済関係	一般社団法人茨城県経営者協会会長	鬼澤 邦夫
49		茨城県商工会議所連合会会長	和田 祐之介
50		茨城県商工会連合会会長	外山 崇行
51		茨城県中小企業団体中央会会長	渡邊 武
52	公益社団法人日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会会長	大高 勝利	
53	通信・運輸関係	一般社団法人茨城県バス協会会長	米川 公誠
54	宿泊・観光関係	一般社団法人茨城県観光物産協会会長	橋本 昌
55	医療・福祉関係	社団法人茨城県医師会会長	小松 満
56		社会福祉法人茨城県社会福祉協議会会長	関 正夫
57	社会団体関係	大好きいばらき県民会議理事長	幡谷 浩史
58		茨城県女性団体連盟会長	田山 知賀子
59		茨城県地域女性団体連絡会会長	櫻井 よう子